

地域に根差した

「身近な奉仕」

を広げよう



牧之原市赤十字奉仕団の活動

赤十字奉仕団（団員416人）は「奉仕」の精神のもと、地域と協力しての炊出しや救急法の訓練、福祉施設での奉仕活動、安全な日常生活を送るための講習会、赤十字社資の募集などの活動を通して、支え合い、助け合う温かな地域コミュニティづくりに協力しています。

問い合わせ 社会福祉課 若杉 ☎(23) 0070

- ①片浜小学校と合同海岸清掃
- ②減災セミナーで毛布ガウン体験
- ③榛原病院奉仕活動
- ④地域防災訓練で自衛隊と榛原中学校生徒との炊出訓練



1年間の主な活動内容

- 市内福祉施設奉仕活動
- 赤十字救急法短期講習・減災セミナー
- 榛原総合病院奉仕活動
- さざんかふれあい広場
- 市内施設慰問
- 歳末助け合い募金活動
- 地域防災訓練への参加
- 片浜小学校との合同奉仕活動

赤十字奉仕団の皆さん「ありがとう」

赤十字奉仕団の皆さんには、毎月第2火曜日の2時間程度お世話になっています。各地区2人ずつの毎回4人で、タオルや古着などの古布を切って雑巾にすることや、草取りをお願いしています。また、奉仕団の皆さんは、年1回市内の方々に声を掛けタオル類や洗剤を集めて、当デイサービスに提供してくれます。直接利用者さんとの関わりはありませんが、大変ありがたく思っています。

相良デイサービスセンター

団員の皆さんからの「声」



牧之原市赤十字奉仕団 委員長
今野朝子さん (相良区)

平成8年に牧之原市赤十字奉仕団へ入団し、平成19年に役員となり活動してきました。役員になり数年、私の防災や救護に対する意識が大きく変わる出来事が起こりました。東日本大震災です。震災の映像や被災者の声は、いつか起こる東海沖地震と重なって見えたのです。また、台風の大型化やゲリラ豪雨など、自然環境

も変化してきました。災害にも慌てることなく、団員一人一人が地域救護リーダーとして活動できるよう、救護法の取得や減災セミナーへ参加するなど取り組んでいます。市内福祉施設への慰問や奉仕活動を通じて、地域に強い絆を作り、豊かな人間性を育むことも、赤十字奉仕団の務めと感じています。



牧之原市赤十字奉仕団 副委員長
鈴木清子さん (静波区)

奉仕団への参加のきっかけは、社資を集めに来た人からいろいろなお話を伺った事でした。勤めを終え、これからの生き方をどうするかと思っていた時、とてもひかれるものを感じたのです。奉仕活動では、団員同士の心の触れ合いや協力し合う心など、今までに経験したことのない充実した思いを味わうことができました。

そして、何よりも楽しいのはバザー。団員の協力による一品寄附を値付して販売し、結果を寄附として社会福祉協議会へ贈りました。災害に備えての減災セミナーや炊出訓練などを勉強することで、とてもありがたく思っています。今後も体力気力の続く間は、団員として協力していきます。



菅山区役員
高塚やす子さん (菅山区)

奉仕団での活動は、団員の皆さんが協力し合い活動に参加し、私にとっても大変勉強になることばかりです。減災セミナーでは、毛布を使つてのガウン、担架作りなどを体験しました。地域赤十字奉仕団基礎研修会では、ビニール袋を使用した炊出訓練でナポリタンを作りました。また、心肺蘇生とAEDを使つての救命訓練も初めて体験しました。

このような研修会はとても有意義な活動であり、参加することができて良かったです。多くの方が研修や訓練を通じて得た経験を、話し合い広めていくことで、一人一人の防災意識や防災力を向上させ、それが地域の絆につながっていくのではないかと思います。



牧之原市赤十字奉仕団 団員
その他の声

私は以前からボランティア活動に興味があり、機会があれば携わってみたいと思っていました。3年前に日赤奉仕団に入団以来、2年間役員として団員の皆さんの協力により何とかやってこれ、本当に感謝しています。私たちの地区で開催している「高齢者の集い」では、77歳以上の方々に招待し、演芸鑑賞や食事をしながらくつろいでいただきます。100人以上の豚汁を作り、配膳や片付けなどで忙しい1日ですが、参加した皆さんから「豚汁おいしかったよ」「また来年も来たいよ」などの声を聞くと、疲れも吹っ飛びます。赤十字の活動だけでなく、いろいろな方面での奉仕活動にも参加できるように努めていきたいです。